

クライメート・リアリティ・リーダーシップ・コミュニティ・トレーニング

東京 | 2019年10月2~3日

気候の危機が、日本の経済や日本人の暮らし、健康、将来の幸福を脅かしています。クライメート・リアリティ・リーダーシップ・コミュニティ・トレーニングは、このグローバルな問題への解決策に貢献する、またとない機会を提供します。日本が現状よりも持続可能な未来を実現するための一助となることができます。

クライメート・リアリティ・プロジェクトと元米国副大統領アル・ゴア氏は、毎年、気候変動の科学について、また、気候の危機により経済・社会・環境にどのような難題が生じているかや、一般の人々に何ができるかについて、世界中の市民を啓発する数日間のイベントを行っています。

クライメート・リアリティ・プロジェクトがこれまでに主催したトレーニングは、世界13カ国で計42回にのぼります。今回のトレーニングは、クライメート・リアリティが日本で開催する初めてのイベントとなります。今年10月は、国連事務総長が招請する気候行動サミットの直後であるとともに、G20および東京2020オリンピックの開催国である日本に世界的な注目が集まっているという、日本と日本国民にとってとても重要な時期にあたります。

一方で、日本は現在、岐路に立っています。持続可能なエネルギーと脱炭素社会に向かう道筋をたどることで、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けての取り組みを加速しなければなりません。

「どうすれば、より説得力を増すことができるか」「どうすれば、あらゆる人々の後押しをして、変化をもたらすことができるか」——この2日間の東京トレーニングは、ゴア元副大統領から直接学ぶことができる、またとない機会です。ゴア元副大統領は「不都合な真実」と「不都合な真実2」という画期的な映画の制作を通じて、まさにそのことを実践したのです。本トレーニングでは、ゴア元副大統領のほか、自らの経験や知識を共有したいという意欲にあふれたこの分野の第一線の専門家たちがトレーナーを務めます。



トレーニングの内容は、気候変動の科学や、気候の危機関連の重要な概念や事柄の伝え方をテーマに、プレゼンテーション、パネルディスカッション、スキル構築ワークショップなどです。また、気候問題の解決を通じてSDGsを達成するために、何ができるかもお話しします。

トレーニングの参加者は一般から公募し、参加費は無料です。主に日本語で実施し、英語・日本語間の同時通訳を行います。

トレーニングの参加者は一般から公募し、参加費は無料です。主に日本語で実施し、英語・日本語間の同時通訳を行います。

トレーニングで提供される内容

- ・ 現在、気候変動は日本にどのような影響を与えているのか、今後どのような影響を与えると考えられているのか、安全安心な豊かな未来を創り出すために、クリーン・エネルギーによる現実的な解決策をどのように実行に移せばよいのか、について学べます。
- ・ より積極的な排出削減目標を設定する必要性について、その目標達成に向けた世界的なベストプラクティスの実践が、将来世代のみならず現在の企業にとってもいかにプラスであるかについて、この分野の第一人者である専門家の話を聞くことができます。
- ・ 気候科学を伝えるスキル、気候の危機への懸念を共有すべく、職場や地域の仲間を後押しするスキル、気候問題への対処方法のアイデアを実行するやり方を見つけるスキルなど、貴重なスキルが得られます。

トレーニングの対象者

- ・ 社内や業界で変化を起こそうとしている企業人や、現代世界の抱える難題を解決したいと考える責任ある投資家、ESG投資を呼び込もうとしている方
- ・ 持続可能な解決策の国内外の成功事例について知りたいと考える政府関係者
- ・ 自分たちの市町村をレジリエンスのある持続可能な地域にしたいと考える地方自治体の職員
- ・ 気候変動に関する知識を生徒や学生に伝えたいと考える教育関係者
- ・ 持続可能な未来のために貢献したいと考える学生
- ・ 気候の危機が心配で、状況を変えたいという思いのあるすべての方



The Climate
Reality Project

参加者は、トレーニング修了後、ゴア元副大統領が署名した修了証書を授与され、世界150カ国以上で活躍する約2万人のネットワークであるクライメート・リアリティ・リーダーシップ・コミュニティの正式なメンバーとなります。

www.ClimateRealityProject.org/training

